

私たちと一緒に、松ノ木小学校の子どもたちを育てませんか？

令和2年度 杉並区立松ノ木小学校経営方針（概要）

- やさしい子供
- 考える子供
- たくましい子供

目指す学校の姿

「自ら学ぶ児童を育てる」学校
～Society5.0に向けて～

○子供が主体の学校づくり　～子供の笑顔はみんなの力の源～

学校運営の一番の基準は「子どもたちのために」。安全・安心の学校づくりはもとより、確かな学力を保障します。

3つの向上

- 学力向上→新指導要領に準拠した全員参加の授業の継続、自ら考え抜く自立した学び
実体験に基づいた実感を伴う学びの実現
R1R2層の児童の底上げ、R4R5の発展的な学び
- 人間力向上→思いやりの心の醸成、自己肯定感の育成、新しい移動教室への取組、
- 人間関係力向上→他者と協働、自己肯定感、いじめ未発見、未解決ゼロ
まつのきスタンダード（あたり前のことをあたり前に）

○プロの技が光る授業　～教師の笑顔は子供の力の源～

教員としての最大の義務である授業の力を高めます。校内研究を軸に、研修や多様な人材活用を通して、自らの資質向上と共に、専門性の向上に努めます。また、個々の児童の実態に応じた指導を展開し、児童の学力向上に努めます。

3つの充実

- 個に応じた指導の充実→個別最適化された学びの実現、学びのポートフォリオ
学習の的確な価値付け、達成感の醸成
- 校内研究の充実→指導要領完全実施、自ら考え抜く自立した学び
児童の自己肯定感の育成、読解力の育成
- OJTの充実→指導法等の情報交流の日常化、授業交流の充実

○当事者意識をもったチーム松ノ木　～保護者・地域の笑顔は子供の力の源～

子どもたちの健全育成のためには、家庭・地域との協働は不可欠。保護者・地域・CS支援本部の力を最大限に生かし、地域の人材を活用した学校運営を行います。また、地域と関わる学習を展開することで、地域に生きる児童を育成します。

3つの協働

- 保護者との協働→協働の意識による児童理解の深化、協力した家庭学習
- CSで協働→学校経営の視点の多角化、双方向の運営、学校の棚卸の実行
- 学校支援本部との協働→授業支援を軸とした外部人材の活用

令和2年度 松ノ木小学校独自の取組

◇働き方改革の推進

◇新指導要領完全実施

- ・外国語、高学年→70時間 中学年→35時間 低学年→5

◇Society5.0に向けた学校 ver. 3.0

- ・個別最適化した学び
- ・語彙、読解力、数的感覚など学力の基礎
- ・実体験を通じた実感を伴う学び
- ・価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心、探求力
- ・自己の役割を自覚できる学び
- ・STEAM重視のプログラム

◇新しい移動教室の実施（区内パイロット校）

- ・民宿と弓ヶ浜クラブに宿泊
- ・民宿に宿泊する際は、数軒に分泊し、児童の主体的な生活力を活かす
- ・3泊4日間の実施

◇オリンピック・パラリンピックイヤー

- ・児童を引率しての応援
- （9月1日 パラリンピック陸上競技）